

社会福祉協議会だより

～中川地区～

H26.3.20 NO.3

1 出かけよう

あたたかい春がすぐそこまでやって来ました。外気に触れると、草花や木立の春の喜びを肌で感じる季節です。是非外出いただき、いつもとは違うルートや遠回りをして、季節の風に触れていただきたいと思います。

さて、中川地区社会福祉協議会では、ひとり暮らしのお年寄りの会食会を25年度は3回開催しました。状況の変化から参加費の値上げや「自ら動いていただく」との思いから、送り迎えを控えるなど、皆さんにはご負担をおかけしましたが、計170人を超える参加をいただきました。

3月の「おたのしみ会食会」の様子をお伝えます。

2 FASTの誓い

3月12日(水)11時30分開催。連日の寒さがうそのような、春本番の日和。4か月ぶりの会合で、町ごとに座っていただき、お話しがはずみます。



最初はお年寄りに発生しやすい「脳卒中」について区役所から注意喚起。顔がゆがむ(F)、腕に力が入らない(A)、言葉がもつれる(S)。こんなことが起きたらすぐに(T)救急車を。「ファスト(FAST)」で救える命を大切にしましょう。

3 「夢のつづき」

来年は都筑区制20周年。皆さんは都筑区民の歌をご存じでしょうか。豊かな自然とそこで生活するわたしたちの、おらかな気持ちを歌い上げた、希望に満ちた歌です。伸びやかな気持ちをつないでいく「夢のつづき」を作詞、作曲された広井顕真さんに、1時間半たっぷり歌っていただきました。

参加者のリクエストは文部省唱歌から演歌まで様々ですが、広井さんは現代風の軽やかなリズムに乗せて歌ってくれました。

「上を向いて歩こう」「北国の春」「雪の降る街を」などは、きっと思い出が多いでしょう。皆さん口ずさんでいました。

広井さんは「歌の宅配便」としてボランティア活動を展開されています。今度はご指導をいただいでみんなで合唱しましょう。

4 出会いと あなたの出番

地域活動にはたくさんのボランティアが動いています。わたしたちの地区社協でも民生委員や保健活動推進員、友愛活動員の方たちが協力して事業を進めています。新しい活動に向けてスタッフの更なる拡充を目指しています。

働き手とサービスの受け手が固定するのではなく、人それぞれにふさわしい役割と出番があると思います。差し出される手を待つよりも、まずアクション。「あなたの行動が様々な出会いと連鎖を呼ぶ一歩となる」と私たちは考えています。

多忙な中でも地域活動を通して、思いがけず新鮮な活力が生まれ、いつもと異なる自分に出会えると私たちは信じています。

ともに汗をかき、助け合えるまちを一緒につくりましょう。



第3号をお届けします。皆様のご意見・感想をお待ちしています。

発行:中川地区社会福祉協議会 事務局長 千葉征五郎

都筑区牛久保東 1-16-27